

☆☆☆ 講座要旨 ☆☆☆



「全人教育としての小学校英語教育」

加賀田哲也先生（大阪教育大学教授）

学校英語教育では、英語のスキル面だけの学習に終始すべきではありません。英語学習（活動）がいかにか子ども達の「人格の完成」に貢献できるか考えていく必要があると思います。これは外国語（英語）教育における永遠の課題でしょう。しかしながら、この目的達成に向けて、今、我々教員ができることはあるはずで、このことについて皆さんで考えていきたいと思ひます。

「小学校現場から考える、新教材の活用法」 ～専科のとなりで見た、1年間の授業を通して～」

加藤拓由先生（春日市立鷹来小学校教諭）

新指導要領の移行期（先行実施期）、各小学校現場では、文科省作成の新教材 Let's Try! や We Can! を使って様々な実践が行われています。また、指導体制も専科、担任、ALT など、現場により様々です。発表者は今年度、専科教員の指導のもと6年生の外国語活動の指導法を学級担任の立場で学んでいます。今回は、新教材の活用法について、みなさんといっしょに改めて考えてみたいと思ひます。」



「子ども達を巻き込むSmall Talk」

～小学校外国語支援者からの提案～

長谷川和代先生（NPO Friendly World 代表）

今年度から先行実施として、5.6年生はWe Can!を取り入れています。悩みの一つとしてSmall Talkがあります。その単元で習う新しい表現を取り入れるだけではなく、既習事項や語彙を想起させるとなっています。そこで、現場の先生方からは、「Small Talkってどういうことですか」「尋ねても『分かりません!』と言われると日本語での『やり取り』になります」などの困惑の声が表出しています。楽しくできるSmall Talkを一緒に考えてみましょう。



特定非営利活動法人

教育支援協会 大阪

Supporting Union for Practical-use of Educational Resources